

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)環境

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・経営者が毎日朝礼時に、経営理念や業務に対する心構え等を社員に発信し、共有している。									8	9										17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則の中に法令遵守に関する項目を規定しており、社内への周知・徹底を図っている。																				16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・県内及び県外の同業他社との間で、価格やサービス提供地域などについて、互いの競争を制約する取り決めをしていない。 ・サービスの内容・品質・取引条件などについて、顧客や取引先に誤解を与えないよう、正確かつ適切な表示・表現を行っている。											10									16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・CO2排出量など、自社の事業活動が環境に及ぼす影響を整理・分析し、専務取締役を責任者とし、社会課題を解決する視点で事業計画を策定している。																				16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・著作権法の引用ルールを理解し、報告書や広告を作成する際、他者の著作権を侵害しないよう社員へ周知し、勉強会を実施している。								8.2	9														
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護方針」を制定し、社内へ周知・徹底するとともに、ホームページ上でも公表している。 ・個人情報漏えい事故等の他社事例を用いた勉強会を社員向けに実施し、個人情報を厳格に取り扱う意識醸成を図っている。																				16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・経営者自ら、顧客や関係先と積極的にコミュニケーションを取り、ステークホルダーからの声を集めることでサービス改善や職場環境向上に活かしている。 ・阿蘇市と連携し、地域に根差した活動を行っている。																			16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●						5						8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		【予定】九州北部豪雨や熊本地震などの大規模災害の対応と経験を生かして、今年度中にBCPを策定し、社員研修で対策について説明を行う。【2022年2月までにBCPを策定し、同3月までに社員研修実施】											9			11		13.1				16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者(現専務取締役)があり、指導・育成に取り組んでいる。 ・後継者は、肥銀ビジネス教育㈱の「次世代経営者マネジメントセミナー」を受講するなど、経営ノウハウを習得している。									8	9											17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2					5			8					12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内での差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・厚生労働省のハラスメント対策マニュアル及び社内研修資料を用いて、社内でのハラスメント防止に向けて意識醸成を図っている。 ・障がい者施設への業務委託等を積極的にに行い、女性や障害者も働きやすい職場環境の形成に努めている。				4.3	5.1				8.5										16.1		16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・定期的(毎月)に安全会議を開催し、職場の安全衛生環境の整備に取り組んでいる。			3						8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・経営者及び役員は、自社の正規社員・非正規社員の業務内容や責任の所在を整理・把握しており、待遇・処遇の差を合理的に説明できる。 ・経営者及び役員は非正規社員に対して、待遇の差や勤務評価を面接により説明し、公平・公正な労働環境の構築に努めている。					5.5				8.5										10.2		10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理や、月1日の有給休暇などの取得を奨励し、家事や育児への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5				8.5		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・重機等の各種資格の取得を奨励し、資格取得者には手当を別途支給している。				4	5.5				8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・心身の健康が最優先であることを周知・徹底し、長時間労働防止や社員の有給休暇取得促進に努めている。 ・社員及び家族の健康維持向上を呼び掛けている。			3						8												17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、性の違いによる差別的待遇は無い。 ・障がい者の雇用や、障がい者施設への業務委託を通じて、障害者の雇用促進につながる取組を進めている。				4.4	5.1				8.5		10.2									16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●						3						8	9.1		11	12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)環境

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 -ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12							
	21	【ブライト企業】 -ブライト企業に認定されている。		●					3	4			8	9			12							
環境	22	【環境汚染予防】 -廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		-廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し、適切に廃棄物や有害物質の管理・保管・処理に取り組んでいる。				3.9			6.3					11.6	12.4			14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 -電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		ガソリン、灯油、電気使用量については、月ごとに使用量を把握し、CO2排出量を計算している。								7.3								13			
	24	【温暖化対策】 -自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		-自社の温室効果ガス排出量を把握し、記録している。 -パッカー車やトラックなどの車両12台は、廃食油からリサイクルしたBDFを燃料としている。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 -自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		-域内の河川や山地の生態系に関心を持ち、環境に配慮した経営を行っている。 -社員の私生活においても、環境にやさしい行動を推奨している。						6.6										14	15		
	26	【効率的な資源利用】 -ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		-古紙回収を事業の一環として取り組むことで、古紙のリサイクルに貢献している。 -食品廃棄物として発生している廃食油を、BDFに精製して車両燃料として利用している。									9.4				12.2 12.4 12.5			14.1	15		
	27	【水の管理】 -熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		-熊本市の上流地域・地下水の涵養地域であることを認識し、地下水保全や汚水等の適切な処理等を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6				11.5					14.1 14.2 14.3	15	17	
	28	【環境に配慮した製品等】 -環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		-コピー用紙などは、再生紙配合率の高い製品を選んでいる。 -廃プラ・廃ゴムの資源化・製品開発に取り組んでいる。									9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	-食品廃棄物の堆肥化やメタン化について、他の事業者との連携を通じて事業化を検討している。	1	2					6.4							12.3			14	15	17
	30	【緑の保全管理】 -壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●														11.6 11.7			13.1 13.3	15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 -高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.5				13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 -「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	-廃棄物として持ち込まれた木くずを、木質バイオマス発電の燃料や薪の材料として供給している。 -持続的な森林利用の仕組みとして、「木の駅プロジェクト」に賛同し、協力している。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15		
	33	【植林等の取組み】 -植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13			15	
	34	【海洋ごみ】 -環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●															12.2 12.5			14		
	35	【環境に配慮した交通手段】 -電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2				13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 -2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●											7.1 7.2 7.3 7.a	9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)環境

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・廃棄物の収集運搬業務や中間処理業務の中で想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9						9			12.4												
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・施設のトイレを洋式に統一することで、足の不自由な障がい者や高齢者の利用を考慮している。									9.1	10	11.7						17							
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・取引先へのお中元・お歳暮などの贈答品は、熊本県内の特産品を提供している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17							
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15									
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・阿蘇市内の高齢化に対応して、家具等の大型粗大ごみの収集運搬や清掃などのサービスの拡充を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・木質バイオマス発電用のチップ生産工場の事業化を検討しており、地域の林業振興につながる事業を検討している。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17						
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害時には、ボランティアで重機を使って道路の復旧作業や、行方不明者の捜索に協力している。 ・災害時には、阿蘇市区長会・阿蘇神社等に寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・過去の九州北部豪雨や熊本地震の災害を教訓に、災害に対する備えや、対策を進めている。 【予定】今年度中にBCPを策定し、社員研修で対策について説明を行う。【2022年2月までにBCPを策定し、同3月までに社員研修実施】				4							11.5		13.1			16								
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・地域事業者として、災害時には顧客の災害廃棄物の引受や廃棄物の収集運搬業務の拡充により、迅速な事業再開や復旧に向けて役割と責任を果たしている。	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1			16	17						
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1										
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4							8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4							8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15					17		

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。